

中小企業景況調査結果(平成29年1~3月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成29年1~3月期実績と平成29年4~6月期見通しについての調査結果(回答数84社、回答率84%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期▲30%から▲37%に低下した。業種別にみると、建設業が14%から▲14%と低下し、来期も▲29%と低下傾向の見通しである。製造業は前期▲42%から▲55%へ低下、小売業は前期▲36%から▲46%と低下しているが、来期は製造業が▲13%、小売業が▲28%と大幅に上昇する見通しとなっている。サービス業は前期▲37%から▲30%へ上昇し、来期も▲27%と緩やかな上昇傾向にある。

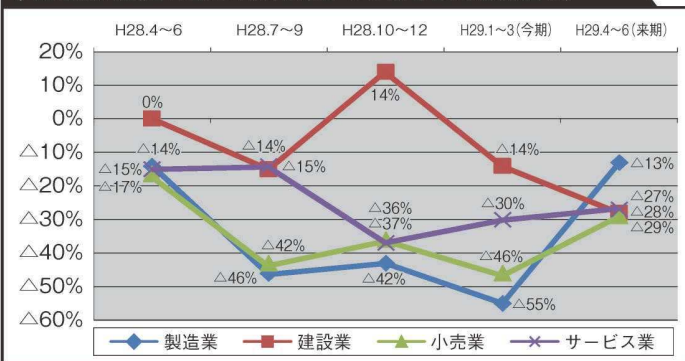
従業員数はやや低下の傾向にあるが、来期は緩やかな改善の見通しである。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の9%、来期設備投資を実施予定の企業は13%であった。経営上の問題点については、製造業・建設業・小売業で「需要の停滞」が共通して挙げられており、今期も解消されていない。また、製造業・小売業・サービス業では「ニーズの変化への対応」が挙げられており、消費者ニーズが徐々に変化し、企業に対応が求められつつあることがうかがえる。

◆業況DI値(今期の状況)

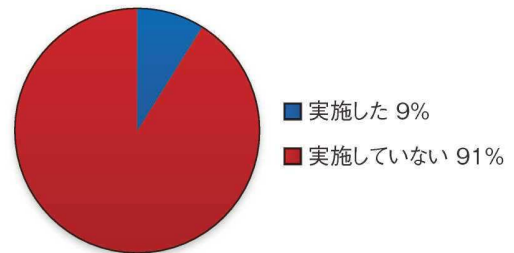
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	▲37%	↘	▲42%	↘	▲23%	↘	2%	→	▲39%	↘	▲11%	↘
製造業	▲55%	↘	▲55%	↘	▲64%	↘	18%	↘	▲64%	↘	0%	↘
建設業	▲14%	↘	▲36%	↘	▲14%	↘	21%	↗	▲36%	↘	▲14%	↘
小売業	▲46%	↘	▲46%	→	▲19%	↗	▲31%	↘	▲50%	↘	▲4%	↘
サービス業	▲30%	↗	▲33%	↗	▲14%	↘	21%	↗	▲17%	↗	▲21%	↘

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

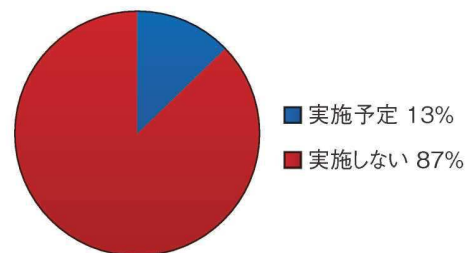


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

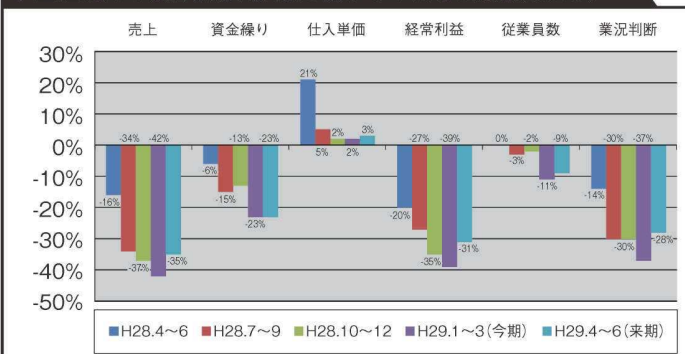
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 24.0%	民間需要の停滞 18.9%	購買力の他地域への流出 20.3%	利用者ニーズの変化への対応 17.3%
2位	生産設備の不足・老朽化 16.0%	熟練技術者の確保難 16.2%	需要の停滞 20.3%	店舗施設の狭隘・老朽化 13.3%
3位	製品ニーズの変化への対応 12.0%	官公需要の停滞 10.8%	消費者ニーズの変化への対応 12.5%	人件費の増加 12.0%

※DIとは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。